

令和4年度 西海市立大串小学校 自己評価書

本年度の重点努力目標

- 1 【確かな学力】授業の充実と確かな学力の定着 3 【健やかな体】体力の向上と健康安全教育の推進
 2 【豊かな心】心の教育の推進と生徒指導の充実 4 【信頼される学校】信頼と協力による開かれた学校づくり

評価項目（評価指標）	そのための具体的な方策・手立て	評価ABC	その根拠（評価は4点満点）	考察・分析及び改善策等
1 確かな学力 ○学ぶ喜びを味わえる授業づくり ○基礎基本の定着 ○学習規律の徹底 ○外国語・外国語活動教育の継続	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の「めあて」の設定とまとめの実施 読解力の育成 ICT機器の有効活用 聴く力や話す力、書く力の育成 あきらめずに課題と向き合おうとする心の育成 漢字博士、課題テストへの取組 スキルタイム・定着タイムの活用 	B	1 内部評価 児童 保護者 職員 めあてとまとめ 3.5 3.2 3.1 ICT活用 3.7 3.4 2.8 書く活動 3.3 3.1 3.0 話し合い活動 3.3 3.2 2.9 家庭学習 3.5 3.1 2.8 学習規律 3.3 3.1 3.1 漢字・計算力 3.4 3.2 3.4 2 地区学校評価 学習・生活の規律 3.9 めあてにそって意欲的よくわかる授業 4.0	<ul style="list-style-type: none"> 児童・保護者・地区の評価結果については昨年度とそれほど大きな変化は見られなかった。学校目標の達成に向けて、職員が一丸となって取り組んだ成果と思われる。 一方で、職員の評価結果が軒並み下がっている。特に、ICT活用については-0.5ポイントになっている。これは、年度途中で、職員構成が大きく変わったが、ICT等の研修や指導についての共通理解が十分図れなかったことが一つの要因と見られる。 市学力調査（12月実施）では、1学年以外、平均と同等か大きく下回る結果となった。校内研究を国語科で読解力の育成を掲げ取り組んでいる。授業改善へ取り組み始めたので、児童の学力向上へとつながっていくように策を講じたい。
2 豊かな心 ○道徳の時間の充実 ○特別支援教育の推進 ○コミュニティ・スクール共通目標の実践 ○体験活動の推進 ○読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間の充実と道徳的実践力の育成 ニーズに応じた特別支援教育の推進 「あいさつ・返事・ありがとう」を相手や場を意識して自分から言える指導 勤労の喜びを味わわせ責任感を育てる体験活動の実施 読書活動の充実 	A	1 内部評価 児童 保護者 職員 道徳性 3.5 3.3 3.3 一人一人を大切に 3.6 3.3 3.4 あいさつ返事ありがとう 3.5 3.4 3.5 勤労・責任感 3.4 3.5 3.1 読書活動 3.0 3.1 3.2 地域との連携 3.5 3.4 3.4 2 「誰も一人にしない」体制づくり ・特別支援学級の児童だけでなく、配慮を要する児童への対応 3 生活目標と連携した共通目標の実践 4 地区学校評価 読書環境の整備と充実 3.6 5 図書貸出冊数 1月末 9,890冊 （一人あたり94冊）	<ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ・返事・ありがとう」を共通目標として心の育成に取り組んできた。評価としては昨年度と変わりがないが、月々の自己評価を取り入れたことで、目標としての意識が向上してきていると感じる。登校時の挨拶も、次第に向上している。 特別支援学級の児童だけでなく、配慮を要する児童対応に向けて、すべての教職員で連携し、「誰も一人にしない」対応を目指した。前面白板に全学級の時間割を掲示し、連携をスムーズにできた。 地域の力を借りて、さつま芋栽培、稲作等の体験活動ができた。特に、年間を通して地域とかわり学習を進めた5年生は、地域学習についての肯定的評価が100%であり、地域とのつながりを深く感じているのが分かった。 読書活動については、昨年度より貸出冊数は低下している。読書を楽しんだり、質の向上を目指したりする取り組みが必要。
3 健やかな体 ○体力づくりの推進 ○健康を守る取組と健康・安全教育の推進 ○美しい学校環境 ○安全点検の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 朝のランニング、外遊びの推奨 体育的行事の充実 先手を打つ感染症予防対策 花壇の整備 清掃活動の徹底 危険個所の迅速な修理 安全管理マニュアルの見直しと改善 	A	1 内部評価 児童 保護者 職員 朝運動等体力向上 3.7 3.6 3.3 廊下歩行 3.1 3.1 3.3 清掃・環境美化 3.6 3.5 3.4 安全・安心 3.6 3.5 3.4 2 地区学校評価 教育環境が整っている 3.9	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上については、評価数値にも表れているように、コロナの状況に応じて実施方法を工夫した「朝運動」でランニングを継続した。ふれあいマラソン大会でも成果を発表できた。 日々の感染症予防対策について、感染レベルに応じて対応を変更しながら実施した。 学年の栽培活動、学校園への全校児童の関わりなど、計画的な活動ができた。 朝運動の後、高学年児童を中心に清掃活動を行いことができた。 学校安心メールで、登下校やコロナ関連など、安心と安全に関係する情報を適時に発信できた。マニュアルの見直しは課題。
4 信頼される学校 ○学校教育への理解 ○地域人材の活用 ○教育相談体制の充実 ○教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種たより、ホームページの充実、安心メールによる情報発信 感動のある学校行事づくり 共通目標のもと、保護者、地域人材を生かした教育活動の推進 定期的な服務規律研修 「不祥事根絶は私から」 	A	1 内部評価 児童 保護者 職員 学級通信・ホームページ なし 3.3 3.4 家庭・地域との連携 3.5 3.4 3.3 悩み等相談 3.4 3.3 3.5 いじめ対応 3.4 3.2 3.5 信頼できる教職員 3.6 3.3 3.7 2 地区学校評価 学校だより等での情報提供 4.0 家庭・地域との協力 4.0 3 学校安心メールでの情報発信 加入率 100% 4 校内特別支援委員会や保護者面談の毎月定期実施・適時に追加実施 適応指導教室担当者やSCやSSWとの連携 5 服務についての自己温床度チェックの毎月実施	<ul style="list-style-type: none"> 「学校だより」は、定期に発行できたが、ホームページの更新ができなかった。 保護者に協力を呼びかけ、学校安心メールの加入率を100%に上げることができた。 コミュニティ・スクールを12名の委員で年間5回の学校運営協議会を行った。共通目標について共通理解を図るための方法を話し合ったり、大村湾クルーズやふれあいマラソン大会を協力して実施したりできた。 働き方改革の意識も浸透し、超過勤務月平均45時間超がゼロとなった。アニバーサリーデーの取組で、年休取得も進んだ。本年度現在まで職員の交通事故ゼロ、体罰事案等の不祥事はゼロである。

その他の特記事項

参考資料 ○学校評価アンケート（教職員・保護者・児童集計表 11月）

○地区学校評価委員アンケート集計結果（6月・11月）

○令和4年度大串小学校 西海市学力調査結果

